

～ シルバーカレッジの各コース・専攻でご指導いただいている先生へのインタビュー 第4回目 ～

生活環境コース 岩木 啓子先生

ライフデザイン研究所 F L A P 主宰。シルバーカレッジには 2005 年より講師として生活環境コースにて、主にチームリサーチ、および 3 年生のグループ学習を指導。神戸在住。生活協同組合コープこうべにおいて、環境・食生活分野を中心とした組合員活動の企画・支援業務に 7 年間従事。

1999 年、退職して個人事務所ライフデザイン研究所 F L A P を設立。

**Q:今の仕事の前は、どのようなことをされてきましたか？**

学生時代は、家政学部食物学科で栄養学等、食にかかわることを勉強していました。卒業してすぐの就職は製薬会社の研究所での新薬開発。結婚して東京から神戸に来て 3 人の子供を持つ専業主婦として 12 年。その頃、コープこうべでアルバイトとして月 1 回発行の暮らし提案誌に携わり、暮らしにかかわるテーマを取り上げました。それを機にアルバイトからパート職員になり、ボランティアな編集メンバーのグループをとりまとめることになりました。思えばその時やっていたことが、今につながっています。

Q:シルバーカレッジにかかわるようになったきっかけは？

カレッジから主にコミュニケーションやタウンウォッチングなど、参加型の講義の依頼がぼつぼつとあって、色々やっているうちに、3 年生のグループ学習のサポートをしてみませんかとい

うことで、今の形になりました。

Q:授業をするのは楽しいですか？

楽しいですよ。最初は私よりずっと年上の人ばかりでしたが、だんだん近づいてきて、今はもう入学資格もあります。

Q:今後、どのようなことをしてみたいですか？

私のライフワークは「考える市民をつくる」こと。率直に相手の顔を見て話してみる。ちょっとだけ踏みとどまって、考え、行動することで世の中がかわる。考えようと言いたいです。

Q:最後に先生から学生へのメッセージがありますか？

仲間がいるということを大切に。話し合っ、素直にやり取りできれば素晴らしい。シニアは人生経験が豊富なので、話し合うと色んなことが出てきます。カレッジの人には特に、考えるシニアになってほしいと期待しています。

(25 期 中里、時岡)

スポーツ授業 山口 泰雄先生

東京学芸大学、筑波大学大学院、カナダ・ウオーターラー大学キネシオロジー学科博士課程修了。鹿屋体育大学助教授、神戸大学教授を経て同大学名誉教授。現在、流通科学大学特任教授。日本生涯スポーツ学会会長、兵庫県／神戸市スポーツ推進審議会会長、TAFISA（国際スポーツ・フォー・オール協議会）理事。

**■思い出深い実績**

1993 年ローンボウルズの太平洋大会（カナダ・ビクトリアで開催）に日本代表 5 人の内の 1 人として出場しました。試合は、勝った方がビールをおごるのです。わがペアーズは 2 回おごる（試合に勝った）という結果でした。ローンボウルズは、試合が終わると相手とはノーサイドでコミュニケーションを交わすという素晴らしい慣習があります。

テニスでは、生涯スポーツの国際総合競技大会「関西ワールドマスタースゲームズ 2021」に理事として参画しながら、ダブルスに出場予定です。

■学生時代の夢

小学校の頃、1964 年東京オリンピックの閉会式で各国の選手団が和気あいあいと乱れて一緒に入場してくるシーンを見て、

スポーツは世界を一つにすると感じ、国際的な場でスポーツに係る仕事をしたいとの夢を抱きました。その後カナダに留学し、大学ではスポーツ社会学を教えながら TAFISA の設立に関わり、子供の頃の夢を実現しています。

■趣味

テニスのできる日数を増やしたいこと。一方、年末には第九にチャレンジしました（12 月 14 日明石市民会館にて）。

■シルバーカレッジ学生へのメッセージ

シルバーカレッジは全国で一番高いクオリティーを持っています。日本のセンテネリアン（百寿者）が 7 万人を超えています。

カレッジの皆さんが日本のアクティブシニアのモデルになってほしいと願っています。

(25 期 辻本、26 期 杉山)